

第143回グリーンサポート隊活動報告

1. 日時:2024.1.28(日)午前9時～11時30分
2. 場所:トラスト第14号地C地区
3. 参加者32名(役場2名、正木体験農園参加者6名)

1月10日(水)刈込隊活動2名

前回までにC地区はきれいに刈り込みを行ったので、まだ草は伸びていないことから落ち葉掃きに備えて落ち葉掃き会場の巡回を実施。倒木や枝かかりなどの危険な個所は見つからなかった。

1月24日(水)刈込隊活動2名

前回以降、強風が吹いた日があったことから落ち葉掃き会場の安全巡視を実施した。倒木はなし。細い枝のかかりは見受けられたが、散策路から離れていること、枝が細く落下しても危険がないと判断したので、現状のまま推移を見守ることにした。清水林のほうに危険な樹木がある。自分たちで伐採できる程度のものから計画的に実施したい

淑徳大学側の林、しばらく全く手入れがされていなかったが、地権者の方が専門家に依頼したのでしょうか。道路に沿って幅2メートルほど刈り込みを実施していました。



林が放置されていることで鳥などの生物、生態系が維持される効果が出ているのは皮肉です。また、下草さえ刈ればシュンランやキンラン等の植物が花を咲かせるところです。



清水林、 傾いた樹木、まだ大丈夫ですが。

1月28日（月）定例活動日

当初予定は21日でしたが、終日雨のために順延しました。

今年は紅葉が遅かったので落ち葉が少ないのではないかと心配していましたが、始めてみると結構たくさんあり、風の影響なのか、東南側に吹き寄せられていました。参加された皆さんは何度も経験していますので、慣れた手つきで熊手を使いこなして落ち葉を山にした後、ブルーシートに乗せ、4人がかりで堆肥置き場まで運びます。人の背丈ほど落ち葉がたまってくると、踏み固めるのが重労働です。本日も子供さんが参加していましたが喜んで落ち葉の上で飛び跳ねていました。



ブルーシートで運んで堆肥置き場で返します。





堆肥置き場は3区分あり、両側に落ち葉を積んで、真ん中は切り返しといって発酵を促進するために適当な期間で両側の置き場から堆肥をセンターの置き場に移します。



落ち葉を積み終わった堆肥置き場、3区分に分かれていて今回の落ち葉は両側に積みました。1年後が楽しみです。



去年の堆肥の中にはカブトムシの幼虫が沢山いました。今は静かに見守ってあげたい時期です。

落ち葉掃きが終わって林床がすっかりきれいになっています。



この時期、林内を見通すことができるのと葉が落ちた樹木の形がよくわかるので林を歩くのは一番いいかもしれません。

2月は例年寒いので活動は休止です。